

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 24 年 8 月 9 日 (2012.8.9)

【公開番号】特開 2011-50015 (P2011-50015A)

【公開日】平成 23 年 3 月 10 日 (2011.3.10)

【年通号数】公開・登録公報 2011-010

【出願番号】特願 2009-199006 (P2009-199006)

【国際特許分類】

H 0 4 M 1/80 (2006.01)

H 0 4 M 1/658 (2006.01)

H 0 4 M 1/65 (2006.01)

【F I】

H 0 4 M 1/80

H 0 4 M 1/658

H 0 4 M 1/65 A

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 6 月 27 日 (2012.6.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

保留機能および用件録音機能を具備する電話制御装置において、自電話制御装置が収容している 1 以上の内線電話機のいずれかに為された保留操作に応じて当該内線電話機を保留状態にする保留手段と、該内線電話機と通信中の相手電話機へ所定の音声ガイダンスを送出する音声ガイダンス送出手段と、前記通信中の相手電話機からの音声を録音する相手音声録音手段と、を有し、該内線電話機が保留中の状態のときに、該内線電話機において予め定められたキー操作が為された場合、または前記通信中の相手電話機から予め定められたコマンドを受信した場合に、前記音声ガイダンス送出手段は用件録音が可能な旨の音声ガイダンスを前記通信中の相手電話機へ送出し、前記相手音声録音手段は前記通信中の相手電話機からの音声の録音を開始し、該内線電話機において所定の保留解除操作が為された場合、該相手音声録音手段に蓄積された電話機からの音声を再生して該内線電話機へ送出手段を特徴とする保留時に用件録音可能な電話制御装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の電話制御装置において、前記保留手段が該内線電話機を保留状態にしてから一定時間経過後、用件録音可能な旨の音声ガイダンスを保留した前記通信中の相手電話機へ送出し、前記相手音声録音手段は前記通信中の相手電話機からの音声の録音を開始することを特徴とする保留時に用件録音可能な電話制御装置。

【請求項 3】

保留機能および用件録音機能を具備する電話制御装置において、自電話制御装置が収容している 1 以上の内線電話機のいずれかと通信中の相手電話機が保留状態であるか否かを検出する相手保留検出手段と、該内線電話機の操作者の音声を録音する内線音声録音手段と、前記内線音声録音手段が録音した音声を前記通信中の相手電話機へ送信する録音音声送信手段と、を有し、前記相手保留検出手段が前記通信中の相手電話機が保留状態であることを検出している状態のときに、該内線電話機において予め定められたキー操作が為された場合に、前記内線音声録音手段は該内線電話機の操作者の音声を録音し、前記相手保留

検出手段が前記保留中の相手電話機の保留解除を検出したならば、前記録音音声送信手段は前記内線音声録音手段が録音した音声を前記通信中の相手電話機へ送信することを特徴とする保留時に用件録音可能な電話制御装置。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００５

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００５】

本発明は、係る問題に鑑みてなされたもので、保留機能および用件録音機能を具備する電話制御装置において、自電話制御装置が収容している１以上の内線電話機のいずれかに為された保留操作に応じて当該内線電話機を保留状態にする保留手段と、該内線電話機と通信中の相手電話機へ所定の音声ガイダンスを送出する音声ガイダンス送出手段と、前記通信中の相手電話機からの音声を録音する相手音声録音手段と、を有し、該内線電話機が保留中の状態のときに、該内線電話機において予め定められたキー操作が為された場合、または前記通信中の相手電話機から予め定められたコマンドを受信した場合に、前記音声ガイダンス送出手段は用件録音が可能な旨の音声ガイダンスを前記通信中の相手電話機へ送出し、前記相手音声録音手段は前記通信中の相手電話機からの音声の録音を開始し、該内線電話機において所定の保留解除操作が為された場合、該相手音声録音手段に蓄積された電話機からの音声を再生して該内線電話機へ送出することを特徴とする保留時に用件録音可能な電話制御装置を提供する。